

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合 ・学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したと回答した児童生徒の割合 ・自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合 ・生涯学習活動で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボランティア活動に活かしている市民の割合 ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	教育総務課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	様々な理由により学齢期に十分な教育を受けられなかった方々に教育を受ける機会を提供するため、令和9年4月の開校に向けた準備を推進し、誰一人取り残さない教育の環境づくりを進めます。	政策5-1-③ 政策5-2-②	夜間中学開校に向けた準備	夜間中学開校に向けた準備		夜間中学設置準備 【コンパス施策6】 【コンパス施策12】	幅広い市民の方々に夜間中学の存在を知っていただくための学校説明会の開催、入学希望者向けの入学説明会の実施や生徒募集、具体的な教育課程の検討など、新潟市立夜間中学の開校に向けて準備を進めます。			
2	多様な考え方に触れ、集団性・社会性を育むとともに、コミュニケーションを通じた学びによる資質・能力を育むことができるように、望ましい学校規模の実現に向けて地域との協議を進めます。	政策5-1-④	情報提供、地域検討会における協議、地域での合意形成や統合に向けた支援の実施	地域検討会等での協議を深める		学校適正配置の取組 【コンパス施策12】	新潟市立小中学校の適正配置基本方針に基づき、望ましい教育環境の実現に向け、学校や地域の実情に応じた協議を行いながら、学校規模の適正化を進めます。			
3	持続可能な行財政運営の確立に向け、経営資源のより効果的・効率的な配分に取り組むとともに、新潟市教育振興基本計画の推進に向けて、教育の今日的課題を踏まえた資源の集中を図ります。	行財1-2-①	経営資源の効果的配分に向けた事業の評価、見直し	見直し・改善		事業の見直し、効果的・効率的な事業の進め方の検討	経営資源の適正配分に向けて、各事業の実績や効果、政策・施策への貢献度などを検証しながら、各事業の最適化、組織や人員配置の見直しを進めていきます。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	北区教育支援センター			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	「地域とともにある学校」を目指し、学校と地域が共通の目標をもって、学校と社会教育施設、家庭、地域をつなぐネットワークづくりをさらに進め、子どもの豊かな成長を支える協働事業を一層推進します。	政策5-3-①	「学校運営協議会で熟議された結果、協働の役割分担が明確にされている」と回答した北区の学校運営協議会委員の割合	90%以上	b	地域と学校パートナーシップ事業(PS) コミュニティ・スクール推進事業(CS) 【コンパス施策9】	学校訪問及び研修会等を実施することにより、地域教育コーディネーターの資質向上及び学校と地域のネットワークづくりを支援します。CSとPSとの一体的推進等について、相談、助言等の支援を実施します。			
2	いじめや不登校等において、予防的な指導や、悩みや問題を抱える児童生徒一人一人に対応する課題解決的な指導に、他の機関などと連携しながら組織的に取り組みます。	政策5-1-②	学校訪問(件) ・定例訪問(各校年2回) ・不定期訪問(8回) ・要請訪問(10回)	54		学校訪問(定例・不定期) 【コンパス施策5】	学校経営、不登校等における課題解決のために、学校訪問を通して、教育活動の実際や学校の実態を把握し、支援を行います。			
3	共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けて、就学時から社会参加まで切れ目のない支援を充実し、一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育を推進します。	政策5-1-②	就学相談件数(件)	80		就学相談の実施 【コンパス施策6】	小学校入学を迎える児童の発達や行動、言葉などについて心配のある保護者を対象に就学相談を実施します。			
4	通学時における交通事故防止や不審者対応などへの体制づくりを進め、その充実を図ります。	政策5-1-③	スクールバスの運行方法の検討	検討		通学バス運行事業 【コンパス施策12】	乗車する児童数の増減に対応し、安定・継続した運行に繋げるため、スクールバスの運行方法について検討を行います。			
5	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	「内部統制の不備」報告件数(件)	前年度以下(令和7年度:0件)		コンプライアンスの推進	職員研修などによりコンプライアンス意識の浸透・徹底を図るとともに、内部統制制度を活用し、再発防止の取組を庁内で共有することで、事務処理誤り等の削減に取り組みます。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合	作成日	R8.5.1
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	東区教育支援センター			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	東区の教育課題である、不登校・不登校傾向児童生徒の増加を抑えるための支援を行います。		小・中学校の不登校・不登校傾向児童生徒の認知率(%)	小・中学校とも市平均を下回る		不登校・不登校傾向児童生徒に係る学校支援 【コンパス施策6】	中学校において、不登校・不登校傾向生徒の認知率が高く、市平均を上回っています。この課題を解決するため、学校訪問等による各校への支援や校長会・教頭会での助言、関係機関との連携等を行います。		
2	共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けて、就学時から社会参加まで切れ目のない支援を充実し、一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育を推進します。	政策5-1-②	子どもの状況や保護者の意向に沿った就学支援ができた割合(%)	100%		早期からの就学支援 【コンパス施策5】 【コンパス施策6】	就学相談(春季・夏季)や随時相談、園訪問を実施し、個々の子どもの状況や保護者の意向に沿った就学支援を行います。		
3	通学時における交通事故防止や不審者対応などへの体制づくりを進め、その充実を図ります。	政策5-1-③	通学路交通安全プログラムに基づき通学路の安全対策を行った学校数(校)	7校		通学路交通安全プログラム推進事業	通学路交通安全プログラムに基づき、学校から報告された危険箇所について、関係機関が連携して児童が安全に通学できるように通学路の交通安全対策を実施します。		
4	「地域とともにある学校」を目指し、学校と地域が共通の目標をもって、学校と社会教育施設、家庭、地域をつなぐネットワークづくりをさらに進め、子どもの豊かな成長を支える協働事業を一層推進します。	政策5-3-①	「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」に肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)	70%		地域と学校パートナーシップ事業への支援 【コンパス施策10】	区地域教育コーディネーター研修会や学校訪問、個別相談等を通して、各校が自校の重点を達成できるよう支援します。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると 回答した児童生徒の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	中央区教育支援センター			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けて、就学時から社会参加まで切れ目のない支援を充実し、一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育を推進します。	政策5-1-②	就学相談会相談対応件数(件)	80件		就学支援 【コンパス施策6】	・特別支援教育にかかる児童生徒の就学について、学校、関係機関との連携を図りながら、保護者の意見を尊重するとともに、子ども一人一人のニーズに寄り添った適切な支援を行います。			
2	いじめや不登校等において、予防的な指導や、悩みや問題を抱える児童生徒一人一人に対応する課題解決的な指導に、他の機関などと連携しながら組織的に取り組みます。	政策5-1-②	学校訪問(定例、要請、随時訪問等)の実施回数(回)	80回		教育課程実施の支援 【コンパス施策5】 【コンパス施策6】	・学校訪問を丁寧に行い、学校運営を支援します。小学校18校、中学校8校、高校3校、中等教育学校1校、幼稚園1校(定例訪問60回、訪問教育相談員との合同訪問等20回)			
3	通学時における交通事故防止や不審者対応などへの体制づくりを進め、その充実を図ります。	政策5-1-③	通学路交通安全プログラムに基づき通学路の検証対策を講じた学校数	6校		通学路交通安全プログラム 【コンパス施策12】	・通学路の危険箇所の点検、関係機関との連携のもと、通学路安全推進会議における対策を協議し、通学路の交通安全を確保します。			
4	「地域とともにある学校」を目指し、学校と地域が共通の目標をもって、学校と社会教育施設、家庭、地域をつなぐネットワークづくりをさらに進め、子どもの豊かな成長を支える協働事業を一層推進します。	政策5-3-①	地域教育コーディネーター学校訪問回数	29回		地域と学校パートナーシップ事業 【コンパス施策9】	・区地域教育コーディネーター研修会や学校訪問、個別相談等を通して指導助言を行い、「地域とともにある学校」づくりを支援し、パートナーシップ事業を推進します。			
5	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	「内部統制の不備」の報告件数	前年度以下(令和7年度:0件)		コンプライアンスの推進	職員研修などによりコンプライアンス意識の浸透・徹底を図るとともに、内部統制制度を活用し、再発防止の取り組みを庁内で共有することで、事務処理誤り等の削減に取り組みます。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したと回答した児童生徒の割合 ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	江南区教育支援センター			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	児童生徒一人一人の学ぶ意欲を高め、基礎的な知識及び技能を習得しこれらを活用して課題を解決するための必要な思考力・判断力・表現力等を育成できるよう、教育活動の充実を図ります。	政策5-1-①、②	学校経営に係る学校訪問 学校内外の機関等から相談・指導等を受けた、又は受けている不登校児童生徒の割合	60校 52%		指導主事の学校訪問による支援・指導 【コンパス施策2、6】	教育支援センター指導主事が訪問し、学校における教育環境の充実を支援します。 不登校児童生徒が安心して相談できるよう学校と関係機関と連携を支援します。			
2	共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けて、就学時から社会参加まで切れ目のない支援を充実し、一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育を推進します。	政策5-1-②	子どもの状況や保護者の意向に沿った就学支援ができた割合(%)	100%		就学支援 特別支援教育に関する指導主事の学校園訪問 就学支援委員会 【コンパス施策6】	就学相談(春季・夏季)、随時相談、学校園訪問等により、子ども一人一人の状況・保護者の意向に沿った就学支援を行います。			
3	「地域とともにある学校」を目指し、学校と地域が共通の目標をもって、子どもの豊かな成長を支える協働事業を支援します。	政策5-3-①	地域教育コーディネーターへの訪問 「コミュニティ・スクールと地域と学校パートナーシップ事業の一体的推進が実現されていると思う。」と回答した学校運営協議会長の割合	16回 58%		地域と学校パートナーシップ事業 コミュニティ・スクール制度の推進 【コンパス施策9】	上記1の訪問でのCSに関する指導助言とともに、各校の地域教育コーディネーターを対象に指導助言を行い、「地域とともにある学校」づくりを支援します。			
4	通学時における交通事故防止を図ります。	政策5-1-③	点検箇所に係る対応方針の策定	100%		通学路交通安全プログラム 【コンパス施策12】	区内の関係機関が連携し、学校から報告があった個所を合同で点検し、対策を協議しながら、通学路の安全確保を図ります。			
5	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	内部統制制度の報告件数	前年度以下(令和7年度:0件)		コンプライアンスの推進	職員研修などによりコンプライアンス意識の浸透・徹底を図るとともに、内部統制制度を活用し、再発防止の取組を庁内で共有することで、事務処理誤り等の削減に取り組みます。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	<指標通番25・26 政策5教育> 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」 と回答した児童生徒の割合	作成日	R8.4.14
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	秋葉区教育支援センター			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	「地域とともにある学校」を目指し、学校と地域が共通の目標をもって、学校と社会教育施設、家庭、地域をつなぐネットワークづくりをさらに進め、子どもの豊かな成長を支える協働事業を一層推進します。	政策5-3-①	ラジオ(FM新津)を利用した広報活動の実施(回)	12(回)		毎月1回、FM新津「学校いいね」コーナーを活用し、学校園情報の発信	子どもの活躍や特色ある教育活動の広報を通して、地域とともにある学校づくりへの理解を深めます。			
			「Akiha教育懇談会」の開催(回) また、区内中学生の市生活学習意識調査「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」の肯定的評価(%)	1(回) 肯定的評価 70%以上		魅力あふれる地域コミュニティづくりの担い手となる次代の人材育成の推進【コンパス施策9】	こども真ん中の秋葉区づくりの実現に向け、「Akiha教育懇談会」で区内中学生とコミ協関係者の意見交換を行い、魅力あふれる地域づくりの推進につなげていきます。			
2	区や地域の実状を把握するとともに全市的な教育施策、情報について発信し、地域とのネットワークづくりを推進します。	行財3-2-①	地域教育コーディネーター訪問回数(全18校)(回)	2(全36)		地域教育コーディネーターの活動支援【コンパス施策9】	学校と地域をつなぐネットワークづくりの実現に向け、地域教育コーディネーターを支援しながら、パートナーシップ事業を推進します。			
3	共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けて、就学時から社会参加まで切れ目のない支援を充実し、一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育を推進します。	政策5-1-②	幼稚園、こども園、保育園、訪問回数(全24園)(回)	2(全48)		配慮が必要な子どもや家族への支援【コンパス施策6】	こども真ん中の秋葉区づくりの実現に向け、教育、福祉、医療等、関係機関の連携を推進します。			
			就学相談会の実施(回)	2(春・夏)			本人の特性や実情と保護者のニーズに応じた適切な指導・支援に努めます。			
4	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	内部統制制度の報告件数(件)	0(件) (令和7年度:0件)		コンプライアンスとリスク回避の推進	職員研修などによりコンプライアンスとリスク回避の意識の浸透・徹底を図るとともに、内部統制制度を活用し、再発防止の取組を庁内で共有することで、事務処理誤り等の削減に取り組みます。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	25・26 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることが あると回答した児童生徒の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	南区教育支援センター			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	内部統制制度の報告件数(件)	0件		コンプライアンスの推進	職員研修などによりコンプライアンス意識の浸透・徹底を図るとともに、内部統制制度を活用し、再発防止の取組を庁内で共有することで、事務処理誤り等の削減に取り組めます。			
2	学校の教育環境の充実に対する支援、児童生徒一人一人の課題解決的な指導の支援に努めます。	政策5-1-②	学校訪問の実施回数(回)	70回		学校訪問(計画訪問、随時訪問、要請訪問)の実施 【コンパス施策2】 【コンパス施策3】	区内小中学校への訪問を実施し、各校の実情に合った学校支援を行います。			
3	共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けて、就学時から社会参加まで切れ目のない支援を充実し、一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育を推進します。	政策5-1-②	就学相談に関わる学校・園訪問および保護者面談の実施回数(回)	90回		就学相談の実施 【コンパス施策6】	特別支援教育にかかる子どもの就学について、学校、園との連携を図りながら、個々の子どもの状況や保護者の意向に沿った適切な支援を行います。			
4	通学時における交通事故防止や不審者対応などへの体制づくりを進め、その充実を図ります。	政策5-1-③	通学路交通安全プログラムに基づいた対象校の通学路点検(校)	5校		・通学路安全推進会議の実施 ・通学路合同点検の実施と対策の決定 【コンパス施策12】	各校の通学路点検の結果をもとに、関係機関と連携して、より安全な通学路の確保を図ります。			
5	南区の小・中学校の実情に合った地域学習を推進することで、郷土を愛する心とこれからの社会をたくましく生き抜く力を育成し、学・社・民の融合による人づくり・地域づくり・学校づくりに貢献します。	政策5-3-①	年度末に児童生徒・教職員に行うアンケート(9つの質問)の、肯定的な回答割合平均	90%以上		区づくり事業「未来創造教室」の実施支援 【コンパス施策9】 【コンパス施策10】	各校の活動の様子を参観し、区長をはじめとする行政職員の講評などでフィードバックすることで、取り組みのよさを価値づけるとともに、活動内容を地域に周知する広報を推進します。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度		(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	西区教育支援センター			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	「内部統制の不備」の報告件数(様式4)	前年度以下(令和7年度:0件)		コンプライアンスの推進	職員研修などによりコンプライアンス意識の浸透・徹底を図るとともに、内部統制制度を活用し、再発防止の取り組みを庁内で共有することで、事務処理誤り等の削減に取り組みます。			
2	教育委員会事務局関係課等と連携し、適正かつ効率的な学校運営の支援に努めます。		・定例訪問各校2回 + 合同訪問回数 ・特別支援教育にかかる学校園訪問回数	学校訪問83回 学校園訪問29回		・小中学校、幼稚園の学校運営の支援	・教育委員会事務局関係課等と連携し、定例訪問、合同訪問を実施することで、各校園の運営の現状を把握、それぞれに応じた支援を行います。			
3	教育委員会事務局関係課等と連携し、地域との連携・協働を推進する地域と学校パートナーシップ事業を支援します。		・地域と学校パートナーシップ事業学校訪問回数	PS事業訪問27回		・小中学校のパートナーシップ事業の支援(基本施策9)	・地域と学校パートナーシップ事業について、各校の地域教育コーディネーターを訪問し、現状に応じた支援を行います。 ・地域教育コーディネーター研修会を研修幹事の主体性を生かして実施し、各校で抱える課題の解決に資する支援を行います。			
4	共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けて、就学時から社会参加まで切れ目のない支援を充実し、一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育を推進します。	政策5-1-②	就学予定児の就学相談の件数 コンパスⅡ-6	130件		・春、夏、冬の就学相談会の開催 ・随時の就学相談を実施(基本施策6)	幼稚園、保育園、療育施設等の訪問と連携し、区就学支援委員会(年3回)に向けた保護者への相談を実施します。			
5	通学時における交通事故防止や不審者対応などへの体制づくりを進め、その充実を図ります。また、災害時に危険を自ら察知し、率先して安全を確保する行動がとれるよう、防災教育を充実させます。	政策5-1-③	小学校を対象に、通学路交通安全プログラムを着実に実施する。 R6年度6校 R7年度7校 R8年度6校	6校		・通学路交通安全推進会議の開催 ・危険箇所の合同点検の実施 ・年度内の方針決定(基本施策9)	通学路交通安全プログラムに基づき、学校から報告された危険箇所について、関係機関が連携して児童が安全に通学できるように通学路の交通安全対策を実施します。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあると回答 した児童生徒の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	西蒲区教育支援センター			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	目的意識や課題意識を大切にしながら、主体的・対話的で深い学びによる授業改善により、資質。能力を育みます。 いじめや不登校等において、予防的な指導や、悩みや問題を抱える児童生徒一人一人に対応する課題解決的な指導に、他の機関などと連携しながら組織的に取り組めます。	政策5-1-②	指導主事をはじめとする職員の訪問及び面談等の対応実施数(回)	100		学校訪問、教育相談 【コンパス施策5】 【コンパス施策6】	指導主事による小中学校、特別支援学校への年間2回の学校訪問を実施するとともに、学校からの要請や必要に応じて面談等による指導支援を行います。			
2	共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けて、就学時から社会参加まで切れ目のない支援を充実し、一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育を推進します。	政策5-1-②	就学相談会相談対応件数(件)	50		就学支援 【コンパス施策6】	春夏の就学相談会や随時相談で保護者の思いを受けとめるとともに、園訪問や関係者との懇談を通して就学児の実態を的確に把握し、望ましい就学に向けた支援に努めます。			
3	地域コミュニティ協議会などの地域団体と連携・協働しながら、学校での総合学習をはじめ各種教育活動を推進するほか、地域における課題の解決を支援します。	政策5-3-①	指導主事による学校及び地域教育コーディネーター訪問及び面談(回)	60		コミュニティ・スクール、地域と学校パートナーシップ事業にかかる学校支援 【コンパス施策9】	計画的に行う学校訪問、要請による面談や電話対応を通じて、学校と地域教育コーディネーターへの支援を強化し、コミュニティ・スクールと地域と学校パートナーシップ事業の一体的推進が図られるようにします。			
4	通学時における交通事故防止や不審者対応などへの体制づくりを進め、その充実を図ります。	政策5-1-③	通学路交通安全プログラムに基づいた対象小学校の通学路点検(校)	6校		通学路安全推進会議の開催 通学路合同点検の実施と対策の決定 結果の公表 【コンパス施策12】	通学路交通安全プログラムに基づき、各小学校から報告された危険箇所等について、関係者が連携して改善の方策を進めることによって、通学路の交通安全を確保します。			
5	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	内部統制制度の報告件数(件)	前年度以下(令和7年度:0件)		コンプライアンスの推進	職員研修などによりコンプライアンス意識の浸透・徹底を図るとともに、内部統制制度を活用し、再発防止の取組を庁内で共有することで、事務処理誤り等の削減に取り組みます。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	新潟市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合	作成日	R8.5.12
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	学務課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	地方公共団体情報システムの標準化に向けた取り組みを円滑に行うため、就学に関するシステムを標準準拠システムへ移行に向けて、持続可能なシステム構築と利便性の高い教育行政サービスを推進します。	行財1-3-②	・現行システムと標準仕様システムの差異における課題について、ベンダなどと連携し差異解消に取り組む	・令和10年1月の標準準拠システムの移行に向けた業務運用の見直し検討		・現行システムと標準仕様システムにおける課題整理と差異の解消に向けた取組み 【コンパス施策12】	・就学(学齢簿編制・就学援助)システムの標準化移行に向けて、運用課題の抽出と業務見直しを検討します。			
2	行政手続きのデジタル化を加速させ、各申請提出事務にかかるデジタル化を推進し、市民の利便性向上と事務の効率化に取り組みます。	行財1-3-①	・行政手続きのオンライン化率	・90%		・行政手続きのオンライン化の推進	・申請手続き等にかかる電子申請化に移行することで、市民の利便性向上と事務の効率化を進めます。			
3	教育環境のICT化に伴い学校現場で扱う情報が多様化したため、教育に係る情報資産の取扱い等を明確に定め、安全な学校運営を実現します。		・情報セキュリティ監査における指摘事項及び改善事項の件数 ・教職員用コンピュータの破損故障の件数	・61件以下(前年度以下) ・24件以下(前年度以下)		・教育情報セキュリティポリシーの運用 ・教職員用コンピュータ整備事業 【コンパス施策13】	・教職員の情報セキュリティ意識の向上を図るため、研修や監査を実施します。 ・教職員用コンピュータの適切な使用を徹底するため、注意喚起を図ります。			
4	保護者や地域から信頼される学校となるために学校現場における財務会計事務の健全化を推進するとともに、効率的で持続可能な学校運営を推進します。		・定期財務事務監査における指摘事項と注意事項の件数	・259件以下(前年度以下)		・学校財務事務監査の実施 ・研修の実施 【コンパス施策14】	・定期財務事務監査のほか、臨時監査や、学校管理職や事務職員への研修を行います。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したと回答した児童生徒の割合【新潟市総合計画2030[学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくりの推進]P139】	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	施設課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	効率的で計画的な施設保全を推進していくため、公共施設やインフラ資産の長寿命化、省エネ設備導入による脱炭素化の推進、ライフサイクルコストの削減に取り組みます。【新潟市総合計画2030[行財2-2-②]P214】	行財2-2-②	大規模改造整備校数(校)	7		大規模改造工事の実施 【コンパス施策12】	総合計画で示す「市政の基礎となる持続可能な財政運営」と、教育振興基本計画に示す「安心・安全で質の高い教育環境の整備・充実」を進めるため、学校の大規模工事を計画的に行います。			
2		行財2-2-②	トイレ洋式化率(%)	72		トイレ改修工事の実施 【コンパス施策12】	総合計画で示す「市政の基礎となる持続可能な財政運営」と、教育振興基本計画に示す「安心・安全で質の高い教育環境の整備・充実」を進めるため、学校のトイレ改修を計画的に行います。			
3		行財2-2-②	特別教室エアコン整備校数(校)	44		特別教室のエアコン整備 (R9年度未完了目標)	近年の厳しい気象条件に対応した教育環境の整備に向け、特別教室のエアコン設置について、整備計画に基づき、計画的に工事を行います。			
4		行財2-2-②	照明設備のLED化整備校数(校)	24		校舎等の照明設備のLED化 (R12年度未完了目標)	環境に配慮した教育環境の整備に向け、照明設備のLED化について、整備計画に基づき、計画的に工事を行います。			
5		行財2-2-②	上記以外の老朽校舎改修工事(概ね500万円以上)実施校数(校)	10		老朽校舎等改修工事の実施	老朽化が進み、損耗や機能低下が著しい施設・設備について、保守点検や老朽改修などを適宜行い、学校運営に支障が生じないよう、施設機能を適切に維持し、安全性を向上させます。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したと回答した児童生徒の割合 ・自分が健康だと思う市民の割合 ・行政サービスのデジタル化により、利便性が向上したと思う市民の割合	作成日	R8.5.18
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	保健給食課			評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	こどもたちが、自らの健康に関心を持ち、健康の増進や病気の予防など、健やかに生きるための主体的な健康づくりができるよう支援するとともに、家庭と連携した食に関する指導を推進します。	政策5-1-②	・「朝食を食べています」で「ほぼ毎日」と回答をした児童生徒の割合	小6:90.0%以上 中3:86.6%以上		・児童生徒の食育・健康づくり推進事業 【コンパス施策4】	児童生徒が規則正しい生活習慣や望ましい食習慣を身につけられるよう、生活習慣病健診を実施するほか、家庭や地域にも訴求する取組を民間等と連携しながら健康教育・食育の取組を展開します。		
			・健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていると回答した児童生徒の割合	小6:81.0%以上 中3:77.5%以上					
		政策6-1-①	・むし歯がない生徒の割合 ・歯肉に所見がある生徒の割合	中1:89.5%以上 中1:15.8%以下		・児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業 【コンパス施策4】	児童生徒のむし歯・歯肉炎予防につなげるため、フッ化物洗口や歯科衛生士による歯科保健指導等を実施します。		
2	学校給食費の適正な徴収管理を通じて保護者負担の公平性確保を図ります。	行財2-1-①	・学校給食費の収納率(現年度分)	・前年度以上 (R7速報値:99.64%)		・学校給食費の徴収 【コンパス施策4】	WEB口座振替登録、再振替、児童手当申出徴収、生保世帯の現物給付など効果的な徴収環境整備と、適宜適切なタイミング・手法で納付勧奨・催告を行います。		
3	給食における食中毒、アレルギー、異物混入などのリスク管理を徹底し、安心安全な学校給食を円滑に提供します。	政策5-1-②	・食中毒、危険異物混入、食物アレルギー誤配・誤食の事故件数	・食中毒なし ・危険異物混入、食物アレルギー誤配・誤食事故の件数:前年度未満		・学校給食運営事業 【コンパス施策4】	調理施設設備の更新を計画的に進めるほか、各施設で食物アレルギーや異物混入等の取組が適切になされるよう実態把握や研修等に取り組みます。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した 児童生徒の割合 ・生涯学習活動で身に着けた知識や技能を地域や学校、ボランティア活動 で活かしている市民の割合	作成日	R8.5.8
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	生涯学習推進課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	「地域とともにある学校」を目指し、学校と地域が共通の目標をもって、学校と社会教育施設、家庭、地域をつなぐネットワークづくりをさらに進め、子どもの豊かな成長を支える協働事業を一層推進します。	政策5-3-① 行財3-2-②	コミュニティ・スクールの制度が機能していると回答した学校運営協議会の割合	90.0%		コミュニティ・スクール推進事業 【コンパス施策9】	各学校の学校運営協議会において保護者、地域、学校が一体となってこどもを取り巻く課題や育てたいこどもの姿について議論や協働を重ね、共にこどもの成長を支える学校づくりを進めます。			
2			地域のこと(自然・歴史・産業など)にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒(小6・中3)の割合	小6 78.5% 中3 73.0%		地域と学校パートナーシップ事業 【コンパス施策9】	学校教育活動のさらなる充実を図り、学・社・民の融合による教育を進めることを目的として、地域教育コーディネーターを配置し、学校と社会教育施設、地域活動を結ぶネットワークづくりなどの取組を行います。			
3			こどもふれあいスクールのねらいを意識した運営をしていると回答した運営主任の割合	前年度(40.5%)以上		こどもふれあいスクール事業 【コンパス施策9】	小学校PTAと教育委員会の共催により、週1～3回平日の放課後や土曜日の午前中に小学校の体育館や余裕教室などで、児童の自由遊びを基本にした「こどもふれあいスクール」を開催します。			
4	市民の主体的な学習活動を推進するため、様々な関係機関と連携しながら、時代や社会の変化、市民の学習ニーズに応じた多様な学習機会の提供を効果的に進めます。	政策5-2-② 行財3-2-②	業務に活かせると回答した割合	80%以上		○学社民融合研修事業(拡充) ○人権教育におけるリテラシー向上事業 【コンパス施策1】	生涯学習関係職員の質の向上のため、既存実施研修に加え、ノウハウの蓄積や企画力の向上などを目的とし、県開催の研修なども取り入れながら、研修の拡充を行ないます。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・仕事に対する職員満足度	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	学校人事課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	全ての教職員がいいきとこどもたちと向き合うため、学校園・教育委員会・保護者・地域が一体となった教職員の働き方改革を推進し、多忙化の解消と教育の質の向上に取り組みます。	政策5-1-④	月当たり平均時間外在校等時間が45時間を超える教職員の割合	前年度以下 (令和7年度: 15.7%)		多忙化解消対策推進事業 【コンパス施策14】	学校現場にゆとりを生み出し、全ての教職員が児童生徒と生き生きと向き合えるよう、教員業務支援員の配置や小学校高学年における教科担任制の推進など、「多忙化解消行動計画」の取組を進めます。		
			年間14日以上 of 年次有給休暇を取得する教職員の割合	前年度以上 (令和7年度: 71.5%)					
2	教員採用選考検査の在り方を見直すとともに、教員のやりがいや魅力を発信し、新潟市の教員志望者を増やします。	行財1-4-①	教員採用選考検査の出願者数	前年度以上 (令和7年度: 512人)		教員採用選考審査 【コンパス施策14】	公平・公正・透明性のより一層の向上を図りながら、人間力を重視した選考を行うとともに、人材確保のための工夫・改善を行います。		
3	性別や障がいの有無に関わらず、職員がその能力を発揮できるよう、教職員定数や人事異動方針及び基準等を見直すとともに、教職員の人事管理の適正化と支援体制の充実を進めます。	行財1-4-①	市立学校園の女性管理職(校園長・教頭)の割合	前年度以上 (令和7年度: 21.4%)		女性管理職の積極的登用 【コンパス施策14】	学校運営における男女共同参画の向上を図るため、女性教職員が管理職を目指しやすい環境を整え、女性管理職等の割合を拡大させます。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	仕事に対する職員満足度	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	教育職員課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	教職員が健全に業務を行えるよう、心身の健康対策を行います。		教職員の健康診断の受診率(%)	100%		教職員の健康診断 【コンパス施策14】	労働安全衛生法に基づく、職員の健康診断を実施します。 ・雇入時の健康診断 ・定期健康診断		
2	教職員給与の制度・水準を適正に管理します。		人事院、市人事委員会の勧告内容の分析・検討 国からの通知等による場合など、給与制度改正が必要な場合は、組合交渉を経て教育職員給与条例等の改正を実施	分析・検討・実施		教職員の給与制度・水準の適正管理	国家公務員、新潟県、その他政令指定都市の給与制度等を踏まえ、本市の給与制度及び給与水準の見直しについて検討・実施します。		
3	職員一人一人の能力や意欲を最大限に引き出すための人材マネジメント機能を強化します。	行財1-4-①	学校園の職員を対象とした研修の実施	実施		学校園の職員向け研修 【コンパス施策14】	学校園の職員を対象に、安心して業務に専念し、次世代を担う能力や意欲を最大限に発揮できるよう、給与・福利・保健面についての制度や手続き等の研修を行います。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したと回答した児童生徒の割合	作成日	R8.4.27
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	総合教育センター			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	教職員が自ら学び続け、高い専門性と豊かな人間性を伸長できるような研修プログラムを実施します。	政策5-施策1-④	教育関係職員の各研修講座における参加者の活用度(%)	90%以上		キャリアステージに関わる研修 ・初任者研修 ・若手研修 ・中堅教諭等資質向上研修 ・期末研修 【コンパス施策14】	教育の動向や学校現場のニーズ、それぞれの教職員のキャリアステージに応じた研修を行います。			
2	教職員が自ら学び続け、高い専門性と豊かな人間性を伸長できるような研修プログラムを実施します。	政策5-施策1-④	教育関係職員の各研修講座における参加者の満足度(%)	90%以上		教職員の専門性向上に関わる研修 ・授業力向上研修 ・現代的教育課題 ・ICT研修 他 【コンパス施策14】	教職員が効果的に専門性を向上できるようにするため、様々な教育課題に対応した研修を行います。			
3	新潟市教職員の教師力向上に寄与するため、他の模範となる優れた教師力を備えた教員(マイスター)を養成します。	行財1-4-①	養成塾受講者における、①認定審査授業時の平均合格細目割合(%)または②年間における平均合格細目の伸び率(%)	①80%以上 ②17%以上		マイスター養成塾 【コンパス施策14】	新潟市教職員の授業力の向上に寄与するため、他の模範となり、児童・生徒に学ぶ喜び・楽しさを感じさせる授業実践のできるマイスターを養成します。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合 ・学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したと回答した児童生徒の割合 ・自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合 ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合	作成日	R8.4.1		
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	学校支援課			評価日			
○:達成、△:一部未達成、×:未達									
No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	RO目標	RO結果	取組名称(事業名)			
1	主体的・対話的で深い学びの実装を目指した授業改善の推進 ・目的意識や課題意識を大切にしながら、主体的・対話的で深い学びによる授業改善により、資質・能力を育みます。	政策5-1-①	□「学ぶことが楽しい」の項目で肯定的に回答した児童生徒の割合	□市意識調査 小6 70% 中3 70%		○「主体的・対話的で深い学び」の実装を目指した授業改善事業 ○学力実態調査分析事業(関連事業) ・授業改善全般 ・幼保こ小 ・総合、探究、ESD、防災 ・図書館、NIE ・運動、体力、芸術、音楽 ・道徳 ・国際交流、日本語指導 ・環境教育、アグリ ・GIGA 【コンパス施策2・4・13・14】	・「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」により、「主体的・対話的で深い学び」の実装を目指した授業改善を推進するため、方向性の提示や研修の企画、実践例の紹介などの支援を行います。 ・各学校の指導方法の工夫・改善につながるよう、多面的・多角的に学力実態の分析を行い、それをもとに授業改善のポイントや好取組を情報提供し、共有します。		
2	発達支持的生徒指導の推進 ・集団や社会で様々な人とかわり、自分の役割を果たしながら自分らしく生きる資質・能力を育みます。 ・自他を尊重する心豊かな人間性・社会性を身に付けるとともに、善悪の判断などの社会のルールを守り、自信と誇りをもって生きることができる力を育みます。	政策5-1-① 政策5-1-②	□「将来の夢や目標を持っていますか」で肯定的に回答した児童生徒の割合	□全国学力・学習状況調査 小6 83% 中3 71%		○キャリア教育推進事業 ○児童生徒の自立促進推進事業 ○各種事業(関連事業) ・自立促進 ・自己肯定感向上 ・キャリア 【コンパス施策3】	○キャリア教育について教職員の理解を図るため、キャリア教育の意義や理念、キャリア・パスポートの活用方法や好事例等を周知・共有し、自校化につなげます。 ○自己指導能力育成のための4つの視点を意識した活動を全教育活動で推進します。		
			□「自分にはよいところがあります」と回答した児童生徒の割合	□市意識調査 小6 83% 中3 71%					
			□「人が困っているときは、進んで助けますか」で肯定的に回答した児童生徒の割合	□市意識調査 小6 94.3% 中3 91.8%					
3	最悪を想定したいじめ・不登校・学級の流れ対応の変化 ・いじめや不登校等において、予防的な指導や、悩みや問題を抱える児童生徒一人一人に対応する課題解決的な指導に、他の機関などと連携しながら組織的に取り組みます。	政策5-1-②	□「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」と回答した児童生徒の割合	□市意識調査 小6 87.5% 中3 85%		○いじめ対応への支援事業 ○不登校、不登校傾向対策事業(関連事業) ・いじめ対応 ・不登校対応 ・いのちの安全教育 ・道徳、人権同和、男女平等 【コンパス施策5・8】	○未然防止から事後対応に向けて、いじめ・不登校の「対応ガイドブック」の活用を周知徹底します。 ○SC・SSW、関係機関との連携により組織的に対応します。 ○SSR設置支援と拡充を推進します。		
			□「学校内外の機関等から相談・指導等を受けた、または受けている不登校児童生徒の割合	□文科調査 100%					
4	地域クラブ活動の推進 ・中学生のための、スポーツ・文化・芸術に親しむ環境を推進します。	政策5-1-②	□区や種目の偏り解消割合	□各区の種目(主な部活動種目)充足度50%以上の割合 90%		○地域クラブ活動推進事業【コンパス施策12】	○中学生が地域でスポーツや文化活動に親しめるよう環境整備を学校・地域・市民と協力しながら整備します。		
5	職員の資質能力の向上 ・職員一人一人の能力や意欲を最大限に引き出すための人材マネジメント機能を強化します。	行財1-4-①	□「新潟市の教育の推進のために、自分の能力を高めたり、貢献していると感じる」と回答した指導主事の割合	□独自調査 100%		○各種事業	○指導主事に必要とされている資質・能力の育成や授業改善、生徒指導に関わる情報共有、意見交換、研修の場を設定し、職員の専門能力の向上を図ります。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合 ・学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断 して行動したと回答した児童生徒の割合 ・自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合	作成日	R8.5.19
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	教育相談センター			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	不登校やいじめ等において、悩みを抱える児童生徒一人一人に対応する課題解決的な指導に、他の機関などと連携しながら組織的に取り組みます。	政策5-1-②	センター及び各区教育相談室における支援による社会的自立に向けた変容	進展があった児童生徒の割合85%以上		・教育相談 ・子ども支援室 ・夜間学習進路相談 ・訪問教育相談 ・休日相談 ・相談関係機関連絡協議会	教育相談をベースとした、左記取組にある多様な支援を行います。必要に応じて、関係機関と連携します。			
2	悩みを抱える人のこころの支援を行うため、世代を問わず、悩んだときに相談できる体制を構築するとともに、支援者の育成に取り組みます。	政策6-1-⑤	所員研修(所員)及び新潟市教職員研修(教職員)、教育相談研究会(教育関係者)参加者満足度	・所員研修の満足度90%以上 ・センター主催研修の満足度95%以上		・大学連携による所員研修とSV(各区教育相談室の実施分も含める) ・電話相談研修 ・新潟市教職員研修 ・教育相談研究会	社会の要請に見合う所員研修を実施します。講義を年間10回、SVを年間9回、協力大学に依頼します。教育相談、不登校支援、子どもを取り巻く現代的な課題への理解を深める教職員研修等を開催します。			
3	児童生徒が安心して過ごせる居場所づくりとその確保のため、現施設の適切な運営と、既存の他施設の活用や関係機関等との連携を図ります。	政策4-1-⑤	子ども支援室通室をはじめとする通室児童生徒継続利用割合	・受案件数のうち継続支援につながった割合70%以上		・SNS受付窓口増設 ・支援室支援内容改善・更新 ・アウトリーチ型支援 ・東区・西区分室運営 ・居場所合同説明会	通室生のニーズを踏まえた支援室運営・支援内容についての改善・更新を行います。ノウハウについては、SSRへ還元します。また、分室や出張支援室(試行)等、居場所づくりに努めます。			
4	効率的で計画的な施設保全を推進していくため、公共施設の長寿命化の推進を図ります。	行財2-2-②	安全点検の定期的な実施と計画的な修繕	・安全点検回数12回(毎月実施) ・修繕実施率75%以上		・安全点検 ・避難訓練 ・ICT環境の整備 ・備品整備 ・環境整備作業	施設内外の整備作業を行い、市民が気持ちよく利用できるような環境を整えます。また、相談者に必要な備品等を整備し、安心して相談できる環境を整えます。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合 ・自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	特別支援教育課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)			
1	共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けて、就学時から社会参加まで切れ目のない支援を充実し、一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育を推進します。	政策5-1-②	配慮を要する児童生徒等への個別の教育支援計画作成率	90%		個別の教育支援サポート事業 【コンパス施策6】 【コンパス施策12】	個別の教育支援計画等作成に係るシステムの活用推進を図り、一人一人のニーズと課題に対応した支援を行い、就学・進級・進学等において個別の教育支援計画等が有効に活用される仕組みづくりを進めます。		
2		政策5-1-②	発達障がい通級指導教室利用者における自校通級率(巡回指導を含む)	60%		巡回通級指導教室整備事業 【コンパス施策6】	他校通級に伴う保護者送迎の負担軽減や、子どもが在籍校の慣れた環境で安心して指導が受けられるよう巡回指導(教員が該当する子どもの在籍校を訪問して指導を行う)対象校の拡大を図ります。		
3		政策5-1-②	特別支援教育市民フォーラムの開催	保護者・市民100名以上参加 教職員100名以上参加		特別支援教育推進のための学校園体制支援事業 【コンパス施策6】	「新潟市特別支援教育ビジョン」に基づき、特別支援教育の意義等について、保護者や地域、市民への理解促進を図るとともに、学校園の特別支援教育を推進するため、事業の内容や進捗、学校園の取組、トピック等、定期的な情報提供を行います。		
			学校園に向けた特別支援教育推進だよりの発行	8回／年					
4	職員一人一人の能力や意欲を最大限に引き出すための人材マネジメント機能を強化します。	行財1-4-①	課主催による特別支援教育に関する教職員研修の実施	見直し・改善		管理職、特別支援学級担任、通常の学級担任、特別支援教育支援員への研修	それぞれの役割や職種に必要とされる資質や能力の育成に向けて、内容や実施形態を改善し、指導対応力やスキル向上を図ります。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・生涯学習活動で身に付けた知識や技術を、地域や学校、ボラン ティア活動に生かしている市民の割合 ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	生涯学習センター			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	あらゆる世代の主体的な学習活動を推進するため、高等教育機関および企業と連携しながら、時代や社会の変化ならびに学習ニーズに応じた多様な学習機会の提供を効果的に進めます。	行政3-2-③ 政策5-2-②	にいがた市民大学受講者の満足度(%)	95%		にいがた市民大学開設事業 【コンパス施策1】	幅広い世代の主体的な学習活動を推進するため、時代や社会の変化、学習ニーズ、新潟の地域性に応じた講座を開設します。		
2	市民が学んだ知識や成果を教育活動や地域に生かすために、生涯学習ボランティアなどを育成するとともに、学校や地域などと連携しながら、その活動の場を支援します。	政策5-2-②	生涯学習ボランティア活動件数	1,600件		生涯学習ボランティア育成事業 【コンパス施策1】	市民が学んだ知識や経験を地域活動や教育活動等に生かすために、生涯学習ボランティアなどを育成するとともに、学校や地域などと連携しながら、その活動の場を支援します。		
3	家庭教育支援に携わる人材を育成し、保護者が集まる機会に派遣して子育て学習会を実施します。	政策5-2-①	家庭教育支援ファシリテーターの学校・企業への派遣件数(件)	10件		家庭教育支援ファシリテーター派遣事業 【コンパス施策11】	家庭教育支援ファシリテーターを学校や企業に派遣し、家庭教育支援プログラムを活用した家庭教育に関する学習会を実施します。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・生涯学習活動で身につけた知識や技能を、地域や学校、ボラ ンティア活動に活かしている市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	中央公民館			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計 画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	子育て中の保護者が安心して学習で きる機会や、家庭での教育に関する情 報を提供するとともに、子育ての悩み などを共有して支え合える関係づくりを 支援するなど、学びを生かす取組を促 進します。	政策5-2-①	家庭教育に関する 講座等で「今後にな かすことができる (気づき)」と回答し た参加者の割合	95%		家庭教育振興事業 【コンパス施策11】	子育て期の親等に学習機会を 提供し、親同士の仲間づくりを 推進するために、こどもの成長 に合わせた家庭教育学級を開 催し、家庭の教育力向上を図り ます。		
2	地域課題学習を通して地域活動を担う 人材を育成し、地域が抱える課題の解 決を支援するなど、学習成果を人づく りや地域づくりに生かす循環型生涯学 習を推進します。	政策5-2-②	地域コミュニティ活 動の活性化を支援 する事業で学んだ 成果を今後になか したい(気づき)と回 答した割合	90%		公民館事業 【コンパス施策9】	地域住民が主体となって地域 課題を把握し、解決できるよ う、公民館が地域団体などと連 携・協力して事業を行い、人材 を発掘・育成しコミュニティ活動 の活性化を促進・支援します。		
3	市民がともに生きる喜びや幸せな生活 が実感できるように、性別、世代、障が いの有無、国籍、習慣、文化、考え方 など、人にはそれぞれ違いがあること を理解し、互いの権利を尊重する教育 を推進します。	政策5-2-②	公民館が主催する 多様性の理解を深 める公民館講座の 事業数	65講座		多様性を認め合う社 会教育の推進 【コンパス施策5】	公民館での社会教育活動を通 じて多様性を尊重する社会の 実現を目指すため、お互いを 理解しようとする講座やイベン トを提供します。		
4	公民館主催講座等の実施において、積極的なオンライン活用を推 進し、市民のデジタルリテラシー向 上デジタルデバйд解消を図ります 。	行財1-3-①	公民館が主催する オンラインを活用し た事業の満足度の 割合	95%		公民館主催講座等によ るデジタルリテラ シー向上およびデジ タルデバйд解消への 取組 【コンパス施策13】	市内公民館でオンラインを活用 した講座等を実施することで、 市民のデジタルデバйд解消を 図ります。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・生涯学習活動で身につけた知識や技能を、地域や学校、ボラ ンティア活動に活かしている市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	豊栄地区公民館			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	子育て中の保護者が安心して学習できる機会や、家庭での教育に関する情報を提供するとともに、子育ての悩みなどを共有して支え合える関係づくりを支援するなど、学びを生かす取組を促進します。	政策5-2-①	家庭教育に関する講座等で「今後に生かすことができる(気づき)」と回答した参加者の割合	90%		家庭教育振興事業 【コンパス施策11】	子育て期の親等に学習機会を提供し、親同士の仲間づくりを推進するために、こどもの成長に合わせた家庭教育学級を開催し、家庭の教育力向上を図ります。			
2	地域課題学習を通して地域活動を担う人材を育成し、地域が抱える課題の解決を支援するなど、学習成果を人づくりや地域づくりに生かす循環型生涯学習を推進します。	政策5-2-②	地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業で学んだ成果を今後に生かしたい(気づき)と回答した割合	80%		公民館事業 【コンパス施策9】	地域住民が主体となって地域課題を把握し、解決できるよう、公民館が地域団体などと連携・協力して事業を行い、人材を発掘・育成しコミュニティ活動の活性化を促進・支援します。			
3	市民がともに生きる喜びや幸せな生活が実感できるように、性別、世代、障がいの有無、国籍、習慣、文化、考え方など、人にはそれぞれ違いがあることを理解し、互いの権利を尊重する教育を推進します。	政策5-2-②	公民館が主催する多様性の理解を深める公民館講座の事業数	5		多様性を認め合う社会教育の推進 【コンパス施策5】	公民館での社会教育活動を通じて多様性を尊重する社会の実現を目指すため、お互いを理解しようとする講座やイベントを提供します。			
4	公民館主催講座等の実施において、積極的なオンライン活用を推進し、市民のデジタルリテラシー向上デジタルデバйд解消を図ります。	行財1-3-①	公民館が主催するオンラインを活用した事業の満足度の割合	90%		公民館主催講座等によるデジタルリテラシー向上およびデジタルデバйд解消への取組 【コンパス施策13】	市内公民館でオンラインを活用した講座等を実施することで、市民のデジタルデバйд解消を図ります。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・生涯学習活動で身につけた知識や技能を、地域や学校、ボラ ンティア活動に活かしている市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	中地区公民館			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計 画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	子育て中の保護者が安心して学習で きる機会や、家庭での教育に関する情 報を提供するとともに、子育ての悩み などを共有して支え合える関係づくりを 支援するなど、学びを生かす取組を促 進します。	政策5-2-①	家庭教育に関する 講座等で「今後に生 かすことができる (気づき)」と回答し た参加者の割合	85%		家庭教育振興事業 【コンパス施策11】	子育て期の親等に学習機会を 提供し、親同士の仲間づくりを 推進するために、こどもの成長 に合わせた家庭教育学級を開 催し、家庭の教育力向上を図り ます。		
2	地域課題学習を通して地域活動を担う 人材を育成し、地域が抱える課題の解 決を支援するなど、学習成果を人づく りや地域づくりに生かす循環型生涯学 習を推進します。	政策5-2-②	地域コミュニティ活 動の活性化を支援 する事業で学んだ 成果を今後に生か したい(気づき)と回 答した割合	85%		公民館事業 【コンパス施策9】	地域住民が主体となって地域 課題を把握し、解決できるよ う、公民館が地域団体などと連 携・協力して事業を行い、人材 を発掘・育成しコミュニティ活動 の活性化を促進・支援します。		
3	市民がともに生きる喜びや幸せな生活 が実感できるように、性別、世代、障が いの有無、国籍、習慣、文化、考え方 など、人にはそれぞれ違いがあること を理解し、互いの権利を尊重する教育 を推進します。	政策5-2-②	公民館が主催する 多様性の理解を深 める公民館講座の 事業数	4事業		多様性を認め合う社 会教育の推進 【コンパス施策5】	公民館での社会教育活動を通 じて多様性を尊重する社会の 実現を目指すため、お互いを 理解しようとする講座やイベン トを提供します。		
4	公民館主催講座等の実施において、積極的なオンライン活用を推 進し、市民のデジタルリテラシー向 上デジタルデバйд解消を図りま す。	行財1-3-①	公民館が主催する オンラインを活用し た事業の満足度の 割合	80%		公民館主催講座等に よるデジタルリテラ シー向上およびデジ タルデバйд解消への 取組 【コンパス施策13】	市内公民館でオンラインを活用 した講座等を実施することで、 市民のデジタルデバйд解消を 図ります。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・生涯学習活動で身につけた知識や技能を、地域や学校、ボラ ンティア活動に活かしている市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	亀田地区公民館			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計 画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	子育て中の保護者が安心して学習で きる機会や、家庭での教育に関する情 報を提供するとともに、子育ての悩み などを共有して支え合える関係づくりを 支援するなど、学びを生かす取組を促 進します。	政策5-2-①	家庭教育に関する 講座等で「今後に生 かすことができる (気づき)」と回答し た参加者の割合	94%		家庭教育振興事業 【コンパス施策11】	子育て期の親等に学習機会を 提供し、親同士の仲間づくりを 推進するために、こどもの成長 に合わせた家庭教育学級を開 催し、家庭の教育力向上を図り ます。		
2	地域課題学習を通して地域活動を担う 人材を育成し、地域が抱える課題の解 決を支援するなど、学習成果を人づく りや地域づくりに生かす循環型生涯学 習を推進します。	政策5-2-②	地域コミュニティ活 動の活性化を支援 する事業で学んだ 成果を今後に生か したい(気づき)と回 答した割合	91%		公民館事業 【コンパス施策9】	地域住民が主体となって地域 課題を把握し、解決できるよ う、公民館が地域団体などと連 携・協力して事業を行い、人材 を発掘・育成しコミュニティ活動 の活性化を促進・支援します。		
3	市民がともに生きる喜びや幸せな生活 が実感できるように、性別、世代、障が いの有無、国籍、習慣、文化、考え方 など、人にはそれぞれ違いがあること を理解し、互いの権利を尊重する教育 を推進します。	政策5-2-②	公民館が主催する 多様性の理解を深 める公民館講座の 事業数	12事業		多様性を認め合う社 会教育の推進 【コンパス施策5】	公民館での社会教育活動を通 じて多様性を尊重する社会の 実現を目指すため、お互いを 理解しようとする講座やイベン トを提供します。		
4	公民館主催講座等の実施において、積極的なオンライン活用を推 進し、市民のデジタルリテラシー向 上デジタルデバйд解消を図りま す。	行財1-3-①	公民館が主催する オンラインを活用し た事業の満足度の 割合	85%		公民館主催講座等 によるデジタルリテ ラシー向上およびデジ タルデバйд解消への 取組 【コンパス施策13】	市内公民館でオンラインを活用 した講座等を実施することで、 市民のデジタルデバйд解消を 図ります。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・生涯学習活動で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボラン ティア活動に活かしている市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	新津地区公民館			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	子育て中の保護者が安心して学習できる機会や、家庭での教育に関する情報を提供するとともに、子育ての悩みなどを共有して支え合える関係づくりを支援するなど、学びを生かす取組を促進します。	政策5-2-①	家庭教育に関する講座等で「今後に生かすことができる(気づき)」と回答した参加者の割合	90%		家庭教育振興事業 【コンパス施策11】	子育て期の親等に学習機会を提供し、親同士の仲間づくりを推進するために、こどもの成長に合わせた家庭教育学級を開催し、家庭の教育力向上を図ります。			
2	地域課題学習を通して地域活動を担う人材を育成し、地域が抱える課題の解決を支援するなど、学習成果を人づくりや地域づくりに生かす循環型生涯学習を推進します。	政策5-2-②	地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業で学んだ成果を今後に生かしたい(気づき)と回答した割合	90%		公民館事業 【コンパス施策9】	地域住民が主体となって地域課題を把握し、解決できるよう、公民館が地域団体などと連携・協力して事業を行い、人材を発掘・育成しコミュニティ活動の活性化を促進・支援します。			
3	市民がともに生きる喜びや幸せな生活が実感できるように、性別、世代、障がいの有無、国籍、習慣、文化、考え方など、人にはそれぞれ違いがあることを理解し、互いの権利を尊重する教育を推進します。	政策5-2-②	公民館が主催する多様性の理解を深める公民館講座の事業数	8事業		多様性を認め合う社会教育の推進 【コンパス施策5】	公民館での社会教育活動を通じて多様性を尊重する社会の実現を目指すため、お互いを理解しようとする講座やイベントを提供します。			
4	公民館主催講座等の実施において、積極的なオンライン活用を推進し、市民のデジタルリテラシー向上デジタルデバйд解消を図ります。	行財1-3-①	公民館が主催するオンラインを活用した事業の満足度の割合	90%		公民館主催講座等によるデジタルリテラシー向上およびデジタルデバйд解消への取組 【コンパス施策13】	市内公民館でオンラインを活用した講座等を実施することで、市民のデジタルデバйд解消を図ります。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・生涯学習活動で身につけた知識や技能を、地域や学校、ボラ ンティア活動に活かしている市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	白根地区公民館			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	子育て中の保護者が安心して学習できる機会や、家庭での教育に関する情報を提供するとともに、子育ての悩みなどを共有して支え合える関係づくりを支援するなど、学びを生かす取組を促進します。	政策5-2-①	家庭教育に関する講座等で「今後に生かすことができる(気づき)」と回答した参加者の割合	80%		家庭教育振興事業 【コンパス施策11】	子育て期の親等に学習機会を提供し、親同士の仲間づくりを推進するために、こどもの成長に合わせた家庭教育学級を開催し、家庭の教育力向上を図ります。			
2	地域課題学習を通して地域活動を担う人材を育成し、地域が抱える課題の解決を支援するなど、学習成果を人づくりや地域づくりに生かす循環型生涯学習を推進します。	政策5-2-②	地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業で学んだ成果を今後に生かしたい(気づき)と回答した割合	80%		公民館事業 【コンパス施策9】	地域住民が主体となって地域課題を把握し、解決できるよう、公民館が地域団体などと連携・協力して事業を行い、人材を発掘・育成しコミュニティ活動の活性化を促進・支援します。			
3	市民がともに生きる喜びや幸せな生活が実感できるように、性別、世代、障がいの有無、国籍、習慣、文化、考え方など、人にはそれぞれ違いがあることを理解し、互いの権利を尊重する教育を推進します。	政策5-2-②	公民館が主催する多様性の理解を深める公民館講座の事業数	6事業		多様性を認め合う社会教育の推進 【コンパス施策5】	公民館での社会教育活動を通じて多様性を尊重する社会の実現を目指すため、お互いを理解しようとする講座やイベントを提供します。			
4	公民館主催講座等の実施において、積極的なオンライン活用を推進し、市民のデジタルリテラシー向上デジタルデバйд解消を図ります。	行財1-3-①	公民館が主催するオンラインを活用した事業の満足度の割合	90%		公民館主催講座等によるデジタルリテラシー向上およびデジタルデバйд解消への取組 【コンパス施策13】	市内公民館でオンラインを活用した講座等を実施することで、市民のデジタルデバйд解消を図ります。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・生涯学習活動で身につけた知識や技能を、地域や学校、ボラ ンティア活動に活かしている市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	坂井輪地区公民館			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	子育て中の保護者が安心して学習できる機会や、家庭での教育に関する情報を提供するとともに、子育ての悩みなどを共有して支え合える関係づくりを支援するなど、学びを生かす取組を促進します。	政策5-2-①	家庭教育に関する講座等で「今後に生かすことができる(気づき)」と回答した参加者の割合	94%		家庭教育振興事業 【コンパス施策11】	子育て期の親等に学習機会を提供し、親同士の仲間づくりを推進するために、こどもの成長に合わせた家庭教育学級を開催し、家庭の教育力向上を図ります。			
2	地域課題学習を通して地域活動を担う人材を育成し、地域が抱える課題の解決を支援するなど、学習成果を人づくりや地域づくりに生かす循環型生涯学習を推進します。	政策5-2-②	地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業で学んだ成果を今後に生かしたい(気づき)と回答した割合	90%		公民館事業 【コンパス施策9】	地域住民が主体となって地域課題を把握し、解決できるよう、公民館が地域団体などと連携・協力して事業を行い、人材を発掘・育成しコミュニティ活動の活性化を促進・支援します。			
3	市民がともに生きる喜びや幸せな生活が実感できるように、性別、世代、障がいの有無、国籍、習慣、文化、考え方など、人にはそれぞれ違いがあることを理解し、互いの権利を尊重する教育を推進します。	政策5-2-②	公民館が主催する多様性の理解を深める公民館講座の事業数	10講座		多様性を認め合う社会教育の推進 【コンパス施策5】	公民館での社会教育活動を通じて多様性を尊重する社会の実現を目指すため、お互いを理解しようとする講座やイベントを提供します。			
4	公民館主催講座等の実施において、積極的なオンライン活用を推進し、市民のデジタルリテラシー向上デジタルデバйд解消を図ります。	行財1-3-①	公民館が主催するオンラインを活用した事業の満足度の割合	94%		公民館主催講座等によるデジタルリテラシー向上およびデジタルデバйд解消への取組 【コンパス施策13】	市内公民館でオンラインを活用した講座等を実施することで、市民のデジタルデバйд解消を図ります。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・生涯学習活動で身につけた知識や技能を、地域や学校、ボラ ンティア活動に活かしている市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会	組織名 (準部・課・機関名)	巻地区公民館			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計 画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	子育て中の保護者が安心して学習で きる機会や、家庭での教育に関する情 報を提供するとともに、子育ての悩み などを共有して支え合える関係づくりを 支援するなど、学びを生かす取組を促 進します。	政策5-2-①	家庭教育に関する 講座等で「今後に生 かすことができる (気づき)」と回答し た参加者の割合	92%		家庭教育振興事業 【コンパス施策11】	子育て期の親等に学習機会を 提供し、親同士の仲間づくりを 推進するために、こどもの成長 に合わせた家庭教育学級を開 催し、家庭の教育力向上を図り ます。		
2	地域課題学習を通して地域活動を担う 人材を育成し、地域が抱える課題の解 決を支援するなど、学習成果を人づく りや地域づくりに生かす循環型生涯学 習を推進します。	政策5-2-②	地域コミュニティ活 動の活性化を支援 する事業で学んだ 成果を今後に生か したい(気づき)と回 答した割合	90%		公民館事業 【コンパス施策9】	地域住民が主体となって地域 課題を把握し、解決できるよ う、公民館が地域団体などと連 携・協力して事業を行い、人材 を発掘・育成しコミュニティ活動 の活性化を促進・支援します。		
3	市民がともに生きる喜びや幸せな生活 が実感できるように、性別、世代、障が いの有無、国籍、習慣、文化、考え方 など、人にはそれぞれ違いがあること を理解し、互いの権利を尊重する教育 を推進します。	政策5-2-②	公民館が主催する 多様性の理解を深 める公民館講座の 事業数	14講座		多様性を認め合う社 会教育の推進 【コンパス施策5】	公民館での社会教育活動を通 じて多様性を尊重する社会の 実現を目指すため、お互いを 理解しようとする講座やイベン トを提供します。		
4	公民館主催講座等の実施において、積極的なオンライン活用を推 進し、市民のデジタルリテラシー向 上デジタルデバйд解消を図りま す。	行財1-3-①	公民館が主催する オンラインを活用し た事業の満足度の 割合	85%		公民館主催講座等 によるデジタルリテ ラシー向上およびデジ タルデバйд解消への 取組 【コンパス施策13】	市内公民館でオンラインを活用 した講座等を実施することで、 市民のデジタルデバйд解消を 図ります。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	生涯学習活動で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボラン ティア活動に活かしている市民の割合	作成日	R8.5.13
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	中央図書館			評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計 画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。そのため、公民館や図書館等の機能と様々な媒体を有効に活用しながら、情報を積極的に発信するとともに、情報や資料等の収集・提供と相談体制の充実を図ります。	政策5-2-②	新潟市立図書館に利用登録している市民の割合	14.0%		図書館サービス向上事業 【コンパス施策1】	19館4地区図書室のオンライン業務と配本車を運行し、図書館資料を効果的に提供します。		
			市民1人当たりの図書館資料(雑誌、AV、電子書籍を含む)貸出点数	5.4点					
2	市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。そのため、公民館や図書館等の機能と様々な媒体を有効に活用しながら、情報を積極的に発信するとともに、情報や資料等の収集・提供と相談体制の充実を図ります。	政策5-2-② 行財1-3-①	電子図書館のアクセス人数	106,000人		図書館サービス向上事業 【コンパス施策1】 【コンパス施策13】	非来館型のサービスや活字での読書が困難な方の読書機会の充実のため電子図書館事業を実施します。また、児童生徒のタブレット端末での読書・学習支援を図ります。		
3	市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。そのため、公民館や図書館等の機能と様々な媒体を有効に活用しながら、情報を積極的に発信するとともに、情報や資料等の収集・提供と相談体制の充実を図ります。	政策5-2-② 行財3-2-②	ボランティアの活動延べ人数 ※中央区・東区合計	2,140人		学習したことを生かし地域で活動できるボランティアの養成と、ボランティアが活躍できる場の提供 【コンパス施策1】	図書館での読み聞かせや対面朗読等の様々なボランティア活動を支援し、また活動機会の提供に努めます。		
4	活字での学習や読書に困難を抱える市民一人一人のニーズに応じるため、バリアフリーの視点での読書環境を整備し、支援に取り組みます。	政策5-2-① 政策5-2-②	読書バリアフリー研修の受講者人数	180人		読書バリアフリー推進事業 【コンパス施策6】	読書バリアフリーに関する研修を行い、図書館職員・教職員等の資質の向上を図ります。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	生涯学習活動で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボラン ティア活動に活かしている市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	豊栄図書館			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	子どもが言葉を学び、表現力を高め、想像力を豊かなものにする読書活動を推進するとともに、読書を通して親子の絆を深めるための取組を行うほか、誰もが利用しやすい図書館環境を整備します。	政策5-2-①	子どもと保護者向け事業の参加者数	1,300人		・ブックスタート事業 ・子どもの読書環境整備 【コンパス施策11】	子どもと本を結びつける活動を行うことで、子どもと保護者がともに読書を楽しむ機会を提供し、家庭内での読書活動の推進を行います。			
2	市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。そのため、公民館や図書館等の機能と様々な媒体を有効に活用しながら、情報を積極的に発信するとともに、情報や資料等の収集・提供と相談体制の充実を図ります。	政策5-2-②	所蔵調査、レファレンス件数	8,000件		・広報誌、SNSでのレファレンス事業の広報 ・職員のスキルアップの研修への参加 【コンパス施策1】	利用者が気軽に相談できるよう、レファレンスの周知を行います。利用者の調査相談に迅速に対応できるようにデータベースでの検索能力の向上やレファレンス事例の蓄積を行います。			
3	市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。そのため、公民館や図書館等の機能と様々な媒体を有効に活用しながら、情報を積極的に発信するとともに、情報や資料等の収集・提供と相談体制の充実を図ります。	政策5-2-② 行財1-4-①	仕事に対する職員満足度	85%		・次代に対応した館内研修の実施 ・司書の専門研修への参加	対面、オンライン問わず、司書の専門研修や接遇に関する研修に積極的に参加します。また、館内で北区の郷土資料や読み聞かせに関する内部研修を行い、専門的能力の向上を図ります。 こども基本法、新潟市子ども条例、令和の日本型学校教育など、現代的教育課題に対応した館内研修を実施します。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	生涯学習で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボランティア活動に活かしている市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	亀田図書館			評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。	政策5-2-②	俳句講座の開催	1回		市民講座事業 【コンパス施策10】	公民館と連携し、地域で活動している講師による亀田地域の俳句について市民への理解を深めます。		
2	市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。	政策5-2-② 行財1-3-①	スマートフォン講座の開催	1回		市民講座事業 【コンパス施策1】 【コンパス施策13】	図書館が提供するデジタルサービスを楽しむよう、市民へのデジタルデバйд対策の取り組みとしての講座を開催します。		
3	市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。	政策5-2-② 行財1-4-①	亀田地域で開催する句会への研修としての職員派遣	12回		俳句の特別コレクションに関する職員の育成事業 【コンパス施策10】	亀田図書館職員向けの研修(句会参加と内部研修)を実施し、地域と俳句のつながりや俳句周辺知識について職員の知識を高めます。		
4	市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。	政策5-2-② 行財3-2-②	読み聞かせボランティア活動への職員の派遣	1		読み聞かせボランティア活動支援事業 【コンパス施策1】	読み聞かせボランティア活動に職員を配置し、運営の改善と職員の専門性を高めていきます。		

組織目標管理シート

年度	令和 8 年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・生涯学習で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボランティア活動に活かしている市民の割合 ・仕事に対する職員満足度	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	新津図書館			評価日	

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	こどもが言葉を学び、表現力を高め、想像力を豊かなものにする読書活動を推進するとともに、読書を通して親子の絆を深めるための取組を行うほか、誰もが利用しやすい図書館環境を整備します。	政策5-2-①	こどもと保護者向け事業の参加者数(延べ人数) (荻川・金津・小須戸を含む)	1800人		・ブックスタート事業 ・こどもの読書環境整備 【コンパス施策11】	・赤ちゃんと保護者に、読み聞かせ体験を通して、親子の絆を深め、家庭での読書習慣を身に付けるきっかけづくりをします。 ・おはなしのじかん等の事業の充実や団体貸出を通して、こどもたちの読書活動の推進に努めます。			
2	市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。そのため、公民館や図書館等の機能と様々な媒体を有効に活用しながら、情報を積極的に発信するとともに、情報や資料等の収集・提供と相談体制の充実を図ります。	政策5-2-②	レファレンス(事項調査・相談)受付件数(件)	700件		・レファレンスサービス(調査・相談)の実施 ・身近な課題解決のための情報提供事業の実施 【コンパス施策1】	・市民や庁内へ広報誌やSNS、FM等で周知活動を行い、レファレンスサービスの充実を図ることで、市民の身近な課題解決の場を提供します。			
3	市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。そのため、公民館や図書館等の機能と様々な媒体を有効に活用しながら、情報を積極的に発信するとともに、情報や資料等の収集・提供と相談体制の充実を図ります。	政策5-2-② 行財1-4-①	仕事に対する職員の満足度	80%		・館内研修の実施や専門研修への参加 ・OJT研修やコミュニケーションによる日常業務での学び	・専門性を高める研修に参加したり、他の市立図書館との情報共有に努めたりします。 ・日常業務を行いながら、必要な知識やスキルを身に付け、職員相互の意識向上を図ります。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度		(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	生涯学習で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボランティア活動に活かしている市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	白根図書館		評価日	

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	子どもが言葉を学び、表現力を高め、想像力を豊かなものにする読書活動を推進するとともに、読書を通して親子の絆を深めるための取組を行うほか、誰もが利用しやすい図書館環境を整備します。	政策5-2-①	子ども向け事業延べ参加者数 ※南区2館合計	2800人		・こどもの読書環境整備 ・ブックスタート事業 ・講師派遣による読み聞かせ事業 【コンパス施策11】	・健康福祉課及びボランティアと協働で1歳児歯科健診時にブックスタートを行います。 ・おはなし会、季節ごとのこども向け事業を開催します。 ・近隣の学校、保育園、幼稚園、公民館へ講師を派遣し、こども或いは親子に読み聞かせを実施します。			
2	市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。そのため、公民館や図書館等の機能と様々な媒体を有効に活用しながら、情報を積極的に発信するとともに、情報や資料等の収集・提供と相談体制の充実を図ります。	政策5-2-② 行財1-3-②	地域の茶の間等への広報活動	2回		・図書館の利用方法、団体貸出の案内 ・パソコン、スマートフォンを使っての図書館の利用案内 【コンパス施策1】 【コンパス施策13】	・地域の茶の間等で実際の資料を提示しながら、図書館の利用方法、団体貸出、登録方法の案内をします。 ・電子図書館の利用方法を周知し、利用者の利便性を高めます。			
3	活字での学習や読書に困難を抱える市民に対し、一人一人のニーズに応じた読書環境の整備に努めます。	政策5-2-① 行財1-1-①	「りんごの棚」及び大活字資料の収集 ※南区合計	1070冊		・読書バリアフリー推進事業 【コンパス施策6】	・やさしい表現で作成されている資料や、大きな活字で印刷されている資料を積極的に収集します。 ・据え置き型拡大鏡を利用しやすいように設置する。 ・読字を補助する道具の利用について周知を行います。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	生涯学習活動で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボラン ティア活動に活かしている市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	坂井輪図書館			評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	こどもが言葉を学び、表現力を高め、想像力を豊かなものにする読書活動を推進するとともに、読書を通して親子の絆を深めるための取組を行うほか、誰もが利用しやすい図書館環境を整備します。	政策5-2-①	こどもや親子を対象とした事業の参加者数 ※西区3館・1室合計	1,900人		読書週間や長期休みに合わせたイベントの実施 【コンパス施策11】	こどもや親子等を対象に、本に親しむ事業を実施します。		
2	市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。そのため、公民館や図書館等の機能と様々な媒体を有効に活用しながら、情報を積極的に発信するとともに、情報や資料等の収集・提供と相談体制の充実を図ります。	政策5-2-②	資料のテーマ展示回数 ※西区3館合計	215回		・幅広い情報や資料の収集 ・さまざまな機関の事業に合わせた資料の展示 【コンパス施策1】	市民に身近な生活課題解決につながるようなテーマ展示を実施します。		
3	市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。そのため、公民館や図書館等の機能と様々な媒体を有効に活用しながら、情報を積極的に発信するとともに、情報や資料等の収集・提供と相談体制の充実を図ります。	政策5-2-② 行財3-2-②	ボランティア参加延べ人数 ※西区3館・1室合計	1,050人		図書館ボランティアの育成 【コンパス施策1】	図書館で活動するボランティアを育成し、活躍の場を提供します。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	生涯学習活動で身に着けた知識や技能を、地域や学校、ボラン ティア活動に生かしている市民の割合	作成日	R8.4.30
組織名(部)	教育委員会事務局	組織名 (準部・課・機関名)	西川図書館			評価日	

No.	組織目標	指標				主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計 画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	子どもが言葉を学び、表現力を高め、想像力を豊かなものにする読書活動を推進するとともに、読書を通して親子の絆を深めるための取組を行うほか、誰もが利用しやすい図書館環境を整備します。	政策5-2-①	おはなしのじかんのほか、施設利用時・講師派遣等による読み聞かせの機会の参加延べ人数 ※西蒲区4図書館合計	2,000人		図書館職員やボランティアによる読み聞かせの実施 【コンパス施策11】	図書館内のほか、職員を派遣することにより来館が難しい場合でも積極的に地域に働きかけ、こどもやその保護者を対象にした読み聞かせ事業を行うことにより、図書館や本に親しむ機会を提供します。			
2	市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。そのため、公民館や図書館等の機能と様々な媒体を有効に活用しながら、情報を積極的に発信するとともに、情報や資料等の収集・提供と相談体制の充実を図ります。	政策5-2-② 行財3-2-②	協働事業の実施事業数 ※西蒲区4図書館合計	10件		各種市民団体と連携した取組事業	地域団体やボランティアグループなどと、互いにとって新たな価値を一緒に創り上げていけるよう協働で事業を実施します。			
3	生涯にわたる学びの基礎となる読書習慣の定着を図るため、読書環境の整備を図ります。	政策5-2-①	利用登録につなげるPRの回数 ※西蒲区4館合計	70回		図書館未登録者に向けたPR 【コンパス施策1】	事業・講座や施設見学等で来館する未登録者や、読み聞かせなどの派遣の機会をとらえ、図書館を利用してもらおう働きかけます。			